

踏 み 跡 <My Mountains>

南アルプス前衛・霧ヶ峰

甘利山と霧ヶ峰 (レンゲツツジ探し)

No.337

2019年6月25日 天気=快晴 <千葉→萑崎→甘利山→諏訪湖>

昨年6月に右膝人工関節手術を受けてから脚力回復に努めてきたので、しばらくは平地の歩行訓練と自転車乗りの日が続き、超低山と言えども山の類いには踏み込んでいなかった。

何となく、車で出かけて軽く歩く山歩きでも試したいなと思い始めてから数ヶ月、良いアイデアが浮上してきた。少々遅い感じもしたが、レンゲツツジがきれいな所があったら見に行こうかな……。梅雨の合間の二日間の晴を見逃さず決行。

自宅発10時半は遅めの出発だったが、おかげで車の流れは比較的スムーズで高井戸周辺の軽い渋滞程度で済んだ。談合坂SAでやや遅めの昼食。甲府盆地を通過する頃は、車の外気温表示は31度。

双葉SAで二度目の休憩をとり、萑崎ICで降りた。

七里岩を潜り、釜無川を武田橋で渡って甘利山登山口へ。甘利沢に沿って谷筋を上り、海拔700m付近で山の腹に取り付いてヘアピンカーブが始まった。ここは砥場(とぎば)と言われていたが、おそらく水辺で鉋や鎌の刃を研ぐ最後の地点だったのかもしれない。

甲府盆地で焼けた車のボディは高度を上げるにつれて冷めてきた。温度計の表示は見る間に20度まで下がり、榎池に着く頃には16度になった。

榎池(白鳳荘前)15時到着。ここは海拔1203m、乾いた爽やかな空気に包まれて、下界の高温を忘れさせてくれる。レンゲツツジがポツンポツンと視界に入ってくるが、近づいてみると、やや盛りを過ぎたようで花卉に張り艶がない。もう少し上に上がって、広河原の駐車場まで行ってみることにする。広河原は海拔1643m、広い平坦地に駐車場が広がり、山頂側の林の間に青い屋根の小屋が建っている。

やはりレンゲツツジの花卉はここの方が艶やかだった。(右写真上)

釜無川の谷を挟んで対岸に聳える金ヶ岳・茅ヶ岳から黒富士にかけての山塊が、雲に首を突っ込んでどっしりと構えている姿が印象的だった。(右写真下)

30~40分もあれば山頂に行ける場所ではあるが、上諏訪までの移動時間を考えると無理そうなので諦めて退散。

海拔355mの武田橋まで一気に下りて、涼しい国とはお別れ。萑崎ICに戻り、再び高速道路を北北西に進路を取る。諏訪ICで降りて、諏訪湖湖岸の「旅館渋の湯」に17時半に到着、初日の行程はこれにて終了。



2019年6月26日 天気=快晴 <諏訪湖→霧ヶ峰→車山→白樺湖→千葉>

恒例の朝風呂の後、7時半から朝食の前に湖畔を散策。

9時前に宿を出発して霧ヶ峰への道(ビーナスライン)に入る。ハイブリッドカーには気の毒な急坂の長い上りが続く。

霧ヶ峰駐車場に9時25分に到着。海拔1700mほどの位置、まずは八ヶ岳の八つの峰がすべて確認できるような鮮やかな展望にびっくり。(左写真)



右に目を移していくと富士山・鳳凰三山を筆頭に南アルプスの一塊、中央アルプスは雲に隠れがちではあるが、木曾御岳。乗鞍・穂高連峰から槍ヶ岳、三俣蓮華……鹿島槍・五龍そして白馬方面。夏場、特に梅雨時にこれだけの景観が得られるなら来た甲斐があるというもの。レンゲツツジは量は豊富ではあるがもう終わりが近く、花卉は皺だらけで輝きを失っている。

付近を適当に散策しながらカメラ遊びを楽しんだ後10時過ぎに車山へ移動。

車山高原駐車場に車を置いて、リフトを二基乗り継いで山頂へ。終わりを迎えたレンゲツツジに代って斜面にコバイケイソウが現れてきた。



山頂駅は山頂の東側の肩(1900m)にある。山頂まで高度差25m、露岩が散在する道をゆっくり登って、11時車山頂上(1925m)に到着。(左写真:山頂からの穂高連峰)

踏 み 跡 <My Mountains>

四方の山脈鑑賞を楽しんでいると時が流れるのを忘れてしまう。雲が微かに動いているので、隠れていたものが見えてきたり、見えていたものが見えなくなったり、眺めが微妙に変化して飽きることがない。リフトで下山して駐車場に戻ると正午を過ぎていた。大門峠經由白樺湖へ下りて昼食を摂ることにする。下って行くにつれて正面の蓼科山がグングン高くなっていく。

さて、昼食への期待を込めて観光地白樺湖に下りたのだが・・・。

レジャーシーズンではないからなのか、時代の要請でこうなってしまったのかは定かではないが、余り営業しているお店がないし、ホテルなども閉店状態の所が目立つ。湖畔を一周して辛うじて見つけた一軒で、おやきと味噌汁の昼食。

下界は今日も 31 度と報道していたので、白樺湖から大門街道（国道 152 号線）を下り、山寺上で左折して県道 17 号に入って海拔 1000m の高原を下っていくことにした。

原村でガソリンを入れながらスタンドのおばさんに尋ねたら、少し上った「上里」という所に野菜の直売所があることを教えてくれた。色々買い込んで、さらに高原道路を下って小淵沢 IC から中央自動車道に入った。甲府盆地への長い下り坂はハイブリッドカーにはありがたい。甲府南 IC 付近で燃費計を見たら、35Km/l を示していた。もう 16 時を過ぎていたが、まだ 31 度だった。

狙いとしたレンゲツツジはもう盛りを過ぎた感じだったが、素晴らしい眺めにも助けられて、久しぶりの山歩きは満足の一語で締めくくることができた。

以上